

薬物乱用は 「ダメ。ゼッタイ。」



「正しい知識」と「断る勇氣」

若者を中心に大麻の乱用が拡大しています！

大麻を使用すると吐き気や錯乱、パニック発作などを起こすほか、長期間使用することで、認知機能障害や記憶障害、薬物依存症を引き起こすなど大変危険です。

「一度くらいなら」という軽い気持ちで、身体に重大な障害をまねく恐れがあります。

誤った情報に惑わされないでください！

インターネット上には、「海外で合法だから安全。」、「大麻は身体への悪影響がない。」、「依存性がない。」などの誤った情報が流布されており、若年層における大麻乱用の拡大が深刻な問題となっています。

学校等で行われる薬物乱用防止教室を通じて、正しい知識を身につけましょう。

お菓子等に偽装した大麻含有製品もあるので、要注意!!

たいま
大麻ワックス



たいま
大麻クッキー



たいま
大麻チョコレート



たいま
大麻キャンディー



※写真提供：厚生労働省

薬物相談窓口

熊本県 薬物相談



←このワードでも検索できます。

熊本県精神保健福祉センター※

Tel 096-386-1166

熊本市こころの健康センター※

Tel 096-362-8100

※相談時間は平日9時～16時

熊本DARC

Tel 096-202-4699



熊本県薬物乱用対策推進本部 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動熊本県実行委員会
熊本県薬物乱用防止指導員連合協議会 ライオンズクラブ国際協会337-E地区

誘われてもキッパリ NO!

ダメされないで!

やせられるよ!
スッキリするよ!
一回だけなら大丈夫だよ!
合法だから大丈夫だよ!
嫌なことを忘れられるよ!
勉強に集中できるよ!
みんなやっているよ!



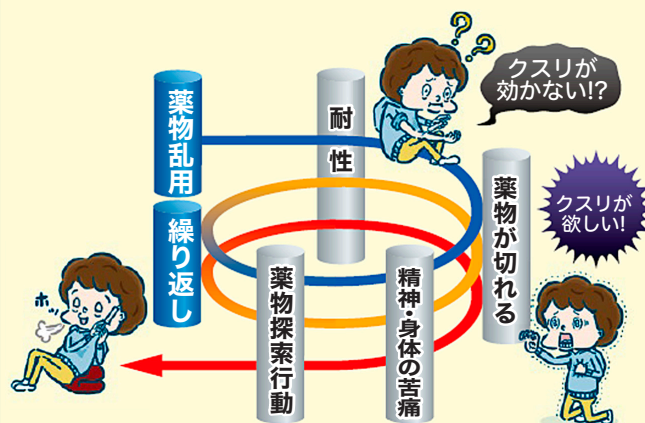
保護者の方へ

インターネットの普及等により、これまで以上に薬物乱用は身近な問題となっています。

子供たちが、誤った情報や言葉巧みな勧誘に対して正しい判断ができるよう、日頃から家庭でも、薬物問題について話し合ってくださいようお願いします。

薬物乱用の悪循環

1回でも薬物を使用すると…



負の連鎖から抜け出すことは難しい!

薬物依存

薬物をやめようと思っても、自分ではコントロールできずにやめられない状態のこと。

耐性

薬物を繰り返し使用するうちに、同じ量では効かなくなり、使用量が増えていくこと。

覚醒剤

幻覚や妄想が現れ、中毒性精神病になりやすいです。使用をやめても「フラッシュバック」することがあります。大量に摂取すると死に至ることもあります。



コカイン

神経を興奮させて、幻覚や妄想等の症状を引き起こします。さらに、大量に摂取すると全身痙攣を起こすほか、死に至ることもあります。



危険ドラッグ

麻薬などに類似した有害で危険な物質を含んでおり、呼吸困難や異常行動を起こしたり、死に至ることもあります。「合法」という言葉に惑わされて、手を出さないで下さい。



オーバードーズ

医師から処方された薬や市販薬を用法・用量を守らずに過量に摂取することは、健康被害を引き起こしたり、やめられなくなったりする恐れがあります。

医薬品も間違った使い方をすれば乱用です。医薬品は正しく使用しましょう!!